

2022年12月20日

損害保険ジャパン株式会社

【累計被保険者数1,230万人突破】

発売から20年、「新・海外旅行保険【off!】」で年末年始の旅行も安心して出発を

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：白川 儀一、以下「損保ジャパン」）が提供するインターネット完結型の「新・海外旅行保険【off!】」が販売開始から20年を迎え、12月20日現在で累計被保険者数1,230万人を突破しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいた海外旅行需要も回復傾向にあり、年末年始に向け海外旅行に出発される方もさらに増加すると予測されます。旅行中のケガや病気だけでなく、さまざまなトラブルに備えるため、インターネットで手軽にお手続き可能な「新・海外旅行保険【off!】」のご加入をおすすめします。

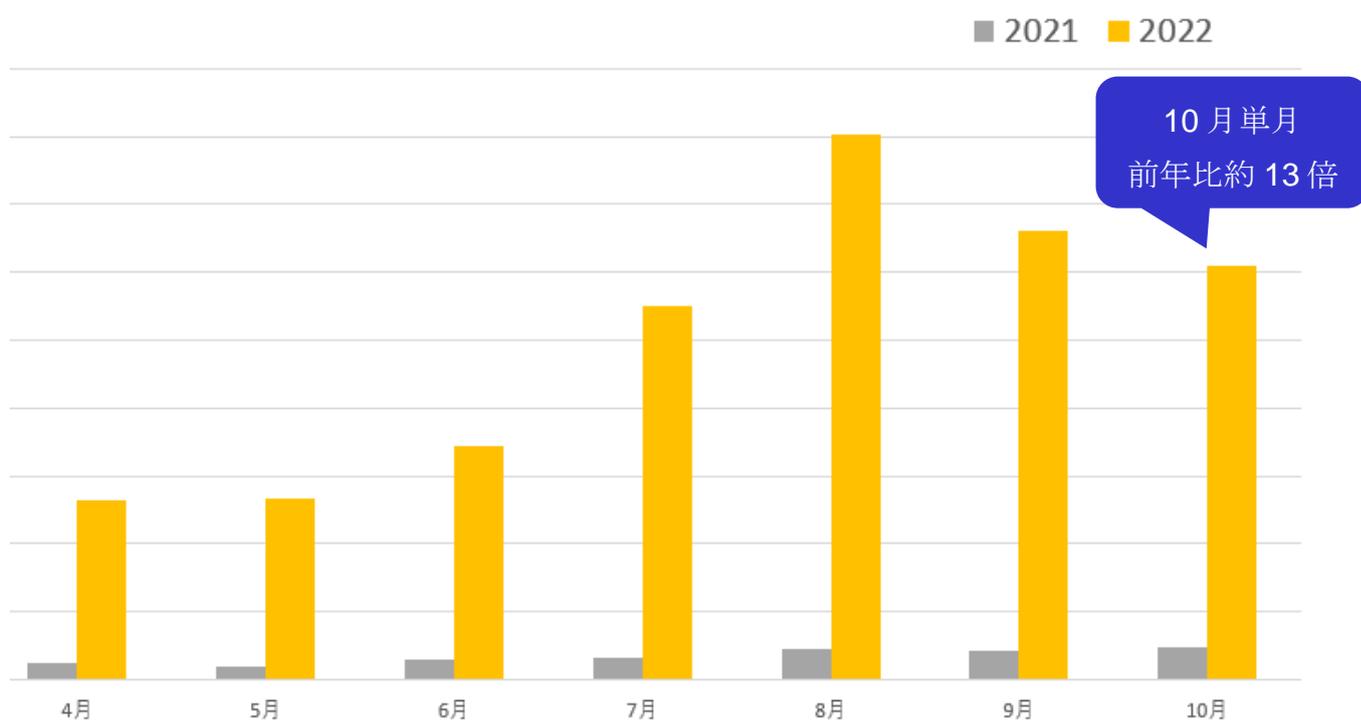
1. 背景、商品概要

「新・海外旅行保険【off!】」は2002年7月に「インターネット専用の海外旅行保険」として販売を開始し、当時としては業界で初めて「地域別の保険料」、「必要な補償を選べる」を実現した海外旅行保険です。店頭販売の海外旅行保険と比較し割安な保険料で多くのお客さまにご利用いただきました。

3つの基本プランのほか、オーダーメイドプランがあり、個人契約についてはクレジットカードにセットされた保険の不足分など必要な補償を追加することも可能です。ご自宅出発前であれば出発当日でも申込みが可能で、海外でのキャッシュレス治療の手配や医師の治療を受ける際の通訳、退院後の帰国手配、携行品のキャッシュレス修理サービスなどさまざまなサービスを受けることができる商品です。

新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に海外旅行者が減少していた昨年と比較して、10月単月では約1.3倍のご加入件数となっており、海外旅行の需要も回復しつつあることがわかります。

昨年との契約件数の比較（4月～10月）



現地でケガや病気の治療を受ける際は費用が高額になるケースが多く、例えばスイスで新型コロナウイルス感染症にかかり15日間の入院治療を受けた際の費用として約264万円をお支払いしたという事例もあります。

治療により現地滞在が延びた場合の宿泊費や帰国するための航空機費用も補償することができるため、現在円安の影響でさらに高額になるこのような万が一の出費に、海外旅行保険で備えることができます。

2. 今後について

「新・海外旅行保険【off!】」加入のさらなる利便性向上の一環として、2022年6月24日から関西国際空港においてアクアビットスパイラル社のスマートプレートを使用した加入システムを導入しています。関西国際空港内30か所に掲示されたポスターにNFC機能^(※1)付きのスマートフォンをかざすだけで「新・海外旅行保険【off!】」のサイトに遷移し加入手続きを行うことが可能です。保険の加入漏れを防ぐだけでなく、非対面/非接触での加入ができることから感染症対策にも寄与する取組みと考えています。

損保ジャパンの目指す姿（社会）の実現に向け、Wellbeing（人々の幸せ、よりよい社会）に貢献する商品やサービスを開発し、お客さまの課題と社会課題の解決を実現していきます^(※2)。

※1 NFCとは、かざすだけで周辺機器との無線通信を可能にする技術・規格です。現在、数多くのスマートフォン端末やICカードにNFC規格に対応したICチップが組み込まれており、決済や近距離通信に利用可能です。

※2 ブランドスローガン「Inovation for Wellbeing」に即した商品開発～人々の幸せ、よりよい社会の実現に向けて～

https://www.sompo-japan.co.jp/-/media/SJNK/files/news/2021/20220304_2.pdf

以上